

令和8年度入学試験問題(前期)

小論文

(医学部保健学科)

(90分)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験中に落丁・乱丁や印刷の不鮮明な箇所などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
3. 解答用紙を別に配付しています。解答は、問題と同じ専攻、同じ番号の解答用紙に記入して下さい。指定の解答用紙以外に記入したものは無効です。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の指定された欄に受験番号を記入して下さい。
5. 解答用紙にアルファベット、算用数字を記入する場合には、1マスに2文字ずつ入れて下さい(ただし、字数が奇数の場合は、末尾の1文字は1マスに入れて下さい)。
6. 問題は、専攻によって異なります。
 - ① 看護学専攻
 - ② 理学療法学専攻
 - ③ 作業療法学専攻
7. 配付された問題冊子および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰って下さい。

1

(医学部保健学科看護学専攻)

以下の(1)(2)について、合わせて800字以内で記述しなさい。

- (1) 文章の後にある図1からわかることを、以下の文章の著者の主張を加えて、200字程度で述べなさい。
- (2) 以下の文章中の「児童・生徒」を「学習者」ととらえた場合、患者教育・指導を受ける「患者」と読み替えても成立する。(1)を踏まえて、看護師が患者教育・指導を行う際に、ICTを活用する方法やその際の注意点について、600字程度であなたの考えを述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：高橋麻衣子「ICTを自己調整に役立てる」(中谷素之・岡田涼・犬塚美輪編著『子どもと大人の主体的・自律的な学びを支える実践』福村出版、2023年発行)より抜粋，一部改変

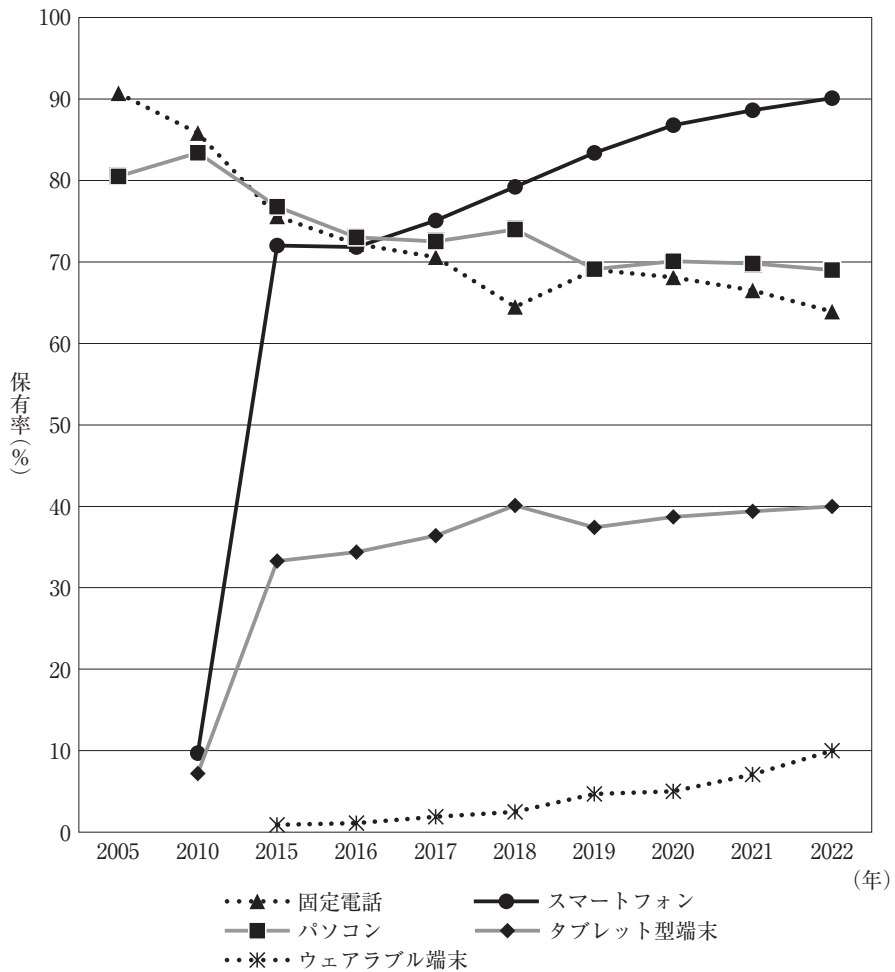


図1. 主な情報通信機器の保有状況(時系列：複数回答)

出典：「令和4年 通信利用動向調査報告書(世帯編)」(総務省) (https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/pdf/HR202200_001.pdf) よりデータを得て作成

2

(医学部保健学科理学療法学専攻)

次に示すのは、大学入学後に必要な知識の一部について述べた文章である。文系の学部でも数学を学んでおくことが、将来的に仕事で有利であることが掲載されている。

以下の文章を読み、大学入学後をイメージして、文系、理系といった専門分野に分けることが果たして将来有益なのか、むしろ不利益なのか、あなたの考えを800字以内で述べよ。

著作権の関係上、省略します。

出典：和田秀樹「頭のいい大学四年間の生き方」(中経出版 pp.44-45, 2007年発行)より抜粋，一部改変

3

(医学部保健学科作業療法学専攻)

以下の文章は、障害児の運動の問題についての新聞記事の抜粋である。記事の最後の段落には、運動は児の発達に欠かせない行為であることが記述されているが、障害児に限らず、高齢者を含むすべての年齢層の障害者では、運動、スポーツをすることに大きな意義があると考えられる。以下の文章を参考にし、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などを持つ障害者(児童から高齢者までの年齢層を含む)がスポーツをする意義について、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：朝日新聞デジタル記事「障害ある子、のびのび運動 金沢に専門の教室
石川」(2021年8月20日)([https://www.asahi.com/articles/ASP8M76Z7
P56PISC011.html](https://www.asahi.com/articles/ASP8M76Z7P56PISC011.html))より抜粋，一部改変